

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	日常の食材や缶詰などで、3日程度の備蓄になっていますが、地域住民の受け入れを行う事を考えると、改めて防災備蓄としての検討を行い、適量の備蓄品を準備することが必要。	災害時の備蓄確保。	現在、法人としても災害に関する取り組みを強化しており、特に一時的な備蓄保管ではなく、常時3日間のお客様の人数プラス $\alpha$ 分の備蓄を確保するよう、業者やコストも見極めながら進めている。	ヶ月
2	6	運営推進会議等の参加者も少なく、家族の思いや意見の引き出しが満足に出来ていないと思われる。	本人・家族の要望・意見を知る。	法人による家族アンケートの結果を、職員だけでなく、個人情報に配慮した上で、いただいた意見や、それに対する回答等を家族へ公表する取り組みをしていく。	ヶ月
3	8	職員不足の中、外出支援等が難しくなりつつあり、入居前からの馴染みの関係や場所が、その人にとって大切なものになる事に意識が薄くなっている。	入居者の生活暦の把握。	現在、個々の身体チェックシートの記載は定着しているため、それを利用して生活の中で知り得た情報や家族から知り得た情報を記載して、その都度追加していく事により生活暦を知っていく。	ヶ月
4	3	運営に活かすための取り組みの一つである、運営推進会議の出席者が少ない。	運営推進会議の活発化。	地域包括や民生委員の出席、また、地域の保育園・小学校・交番などへの働きかけも行っていく。4月以降の自治会への参加も進めていく。	ヶ月
5	18	職員不足もあり、日常的な外出機会が少ない。会社理念の中の一つに「退屈させない介護」と掲げている事もあり、外出支援への取り組みが必要。	外出支援の充実。	年間を通じての個別外出計画を作成して実施するなど、入居者にとっての特別な外出機会になるよう、工夫や企画を進めていく。	ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。